

# 気球船



## ◇◇ 目次 ◇◇

- 巻頭 「子どもは希望一言葉と文化を身に付ける」 初等中等教育局主任視学官 田中孝一・・・1, 2
- 特集 上海日本人学校高等部設置について 上海日本人学校高等部校長 安保尚子・・・2, 3
- 事務連絡 ○人事異動のお知らせ・・・3～11
  - ・ 退任者のあいさつ・・・5～9
  - ・ 就任者のあいさつ・・・9～11○お知らせ・・・12
  - ・ 庶務・助成係・・・12
    - 平成 23 年度国際教育課関連予算について
  - ・ 在外教育施設指導係・・・12, 13
    - ・ 補習授業校のための指導資料集（小学校国語・算数）について
    - ・ 「平成 23 年度教育課程等実施状況調査」について
  - ・ 海外子女教育財団より・・・13, 14

## \*\*\*\*\* 巻頭 \*\*\*\*\*

### 子どもは希望一言葉と文化を身に付ける

初等中等教育局主任視学官 田中 孝一

私は、ここ 10 年余の間に、日本人学校 10 校、補習授業校 4 校、計 14 校を訪れる機会を得ました。校長先生はじめ多くの先生方にお会いして授業を参観したりお住まいをお訪ねして生活ぶりを拝見したりして、いろいろなお話をうかがいました。それらの学校では、派遣教員、現地採用教員、スタッフの皆様が、国内とは異なる様々な事情に直面しつつも、子どもたちの教育指導、教育環境等の整備、安全指導等に一所懸命でした。

補習授業校のうち 2 校では、当該校の先生方の参考に供すべく、国語科の授業をさせていただきました。1 校では、小学部で作文の授業、1 校では、中学部で言葉と文化の授業。どちらも、複数の学年をまとめた特設の授業でした。授業後には授業研究も行いました。



このような授業の経験も含めて、在外教育施設にうかがっていつも強く感じ入るのは、子どもたちの、きわめて明るく熱心に勉学に励む姿勢です。先生方は、子どもたちが、成育歴、学習歴等により、言葉や文化の習得の状況が様々であることをきちんと踏まえた上で、教科等の授業や学校行事等あらゆる機会をとらえ、一人一人に応じた日本語（国語）と日本文化を身に付けさせるために多彩に取り組んでいらっしゃいました。

3月の大震災により、私たちは、人と人とのつながり、絆の大切さを改めて思い知りました。被災地の人々からは、子どもは希望であるとの発言が繰り返されました。子どもたちからは、早く学校に行って勉強したい、友達や先生に会いたいなどの声を幾度となく聞きました。学校は、子どもたち、保護者、地域の人々にとって、希望をつなぐ場であることが図らずも再認識されました。この期待に応えるのが学校関係者の崇高な務めです。

そうです、私たちは、私たちの未来を生きていく、私たちの後の社会を築いていく子どもたちにひたすら希望を託しています。そのことは、現在、海外で生活している子どもたちに対しても同じです。世界のどこにいても、子どもたちは私たちの希望そのものです。

私たちの希望である子どもたちが将来生きる場は、国内、国外を問いません。そのためには、国内の学校であれ、在外教育施設であれ、日本の言葉と文化をしっかりと身に付けることが大切です。在外教育施設を設置する、当該国・地域の日本人社会の皆様や保護者の方々の思いもそこにこそあると、訪問するたびに強く察せられています。（写真：イスタンブル日本人学校）

## \*\*\*\*\* 特集 \*\*\*\*\*

### 上海日本人学校高等部設置について

上海日本人学校高等部校長 安保 尚子

世界は常に激動しています。中でも最近の中国の躍進、中東の動き、そして日本の大地震災害等々には誰もが目を瞠らせています。

そんな中で、上海日本人学校高等部が産声を上げました。関係者の長年の悲願でありましたが、進出している日本企業が全産業・業種に亘って7000社に及び、日本人人口は5万人を超えるという地の利を得た上海について誕生したのです。携わった人々の熱い思いが様々な困難を乗り越えさせたのです。



（写真1）

私はこの1年余、皆さんの、新しいことを始めるための強い意志とロマンをひしひしと感じて来ました。学校がスタートした今、そのことをしっかりと生徒達に引き継いで行きたいと思えます。

重点的教育内容は以下の通りです。

上海日本人学校校訓

『独歩博愛』

高等部建学の精神

『未来に向けた新しい価値観の創造』

教育目標

『志高く自ら学ぶ国際人の育成』

## 指導方針

- ①学習指導（・授業で勝負　・少人数制　・十分なサポート　・自学自習重視）
- ②語学指導（・英語／中国語力の養成　・集中語学講座　・TOEIC/TOEFL/HSK）
- ③実学重視（・企業／協力大学と連携して「特別企画」・現地と語学／文化交流）

## カリキュラム

- ①進学校に準じた編成（・基礎学力をつけて高等教育に向ける　・週 35~37 時間確保）
- ②効率的な指導（・学習上の個性に合わせた指導　・2年から文／理系分け）
- ③国際性涵養（・語学力重視　・実学訓練　・「特別企画」で広い視野を養う）

4月16日の「開校・入学式」で生徒達は、前上海総領事（在中国日本大使館特命全権公使）から、「貴方達は日本の誇りであり希望であります。従って怠惰は許されません」と励まされました。他の大勢の来賓からも同様に温かいながらも厳しい激励を沢山戴きました。今後数年で社会に乗り出す高校生をしっかりと鍛えるのがこの学校の使命です。

その後 20～22 日に行われた新入生合宿ではグループで討議（①高校生らしさ、②国際性とは）→発表、2日目は（③差異について）→プレゼンテーション→質疑、講評が徹底的に行われ、教師も共に予想以上の白熱した討議が展開されました。



（写真 2）

今、授業と部活動が始動し高校生として初めての中間考査に取り組んでいます。一方、大きな特徴の一つ「協力大学会議」は、卒業時の受入れだけでなく、生徒が順次成長していく段階で共に優れた教育を創っていきます。5月には上智大副学長、6月には法政大田中教授、9月には東京理科大学長が特別講演をして下さいます。

このように本校は企業、大学、現地の協力を得て新しい教育モデルを目指しています。皆様どうぞご支援下さい。（写真1「入学式の様子」　写真2「合宿の様子」）

## \*\*\*\*\* 事務連絡 \*\*\*\*\*

### 人事異動のお知らせ

庶務・助成係長 名取 瑞樹

以下のとおり人事異動がありましたのでお知らせします。

#### 【4月1日付け】

（転出）

岩井 宏	外国語教育推進室室長 →神戸大学財務部長	牧野 映也	海外子女教育専門官 →初等中等教育局参事官付専門官
岡崎 政典	庶務・助成係長 →放送大学学園学務部 連携教育課課長補佐	栃木 達也	在外教育施設指導係長 →川崎市総合教育センター 情報・視聴覚センター指導主事

秋月 真也 日本語指導係長 小宅 直樹 教職員派遣係  
→浜松市立与進中学校 →名古屋大学国際部国際企画課  
国際事業係

金子 宣央 外国語教育推進室事業推進係  
→総務課行政改革推進室法人係主任（併）内閣府公益認定等委員会事務局審  
査監督調査官

菊地 英敏 国際理解教育係  
→国際業務研修生（米国にて語学・高等教育に関する研修等を行う）

川上 佳奈子 外国語教育推進室企画調整係  
→兵庫県教育委員会義務教育課

蓮浦 顕達 外国語教育推進室企画調整係  
→児童生徒課生徒指導室生徒指導調査分析係

（転入）

渡邊 倫子 高等教育局大学振興課教員養成企画室長  
→外国語教育推進室長

北崎 哲章 財務課生涯生活設計専門官  
→海外子女教育専門官

麻生 正登 長崎県教育庁総務課企画広報班係長  
→教職員給与係長

首藤 弘明 川崎市立古市場小学校総括教諭  
→在外教育施設指導係長

植村 恭子 鈴鹿市教育委員会人権教育課主査（兼）指導主事  
→日本語指導係長

中林 清美 浜松市教育委員会学校教育部教育総務課指導主事  
→外国語教育推進室専門職

三井 俊祐 長岡技術大学  
→教職員派遣係

近藤 聡子 新規採用  
→外国語教育推進室企画調査係

宮本 亜由子 岐阜大学企画部評価調査課調査係  
→国際理解教育係

浅上 修嗣 藤沢市教育委員会教育総務部教育総務課  
→外国語教育推進室企画調査係

中嶋 恭子 視学官室  
→教職員派遣係

（課内異動）

名取 瑞樹 教職員派遣係長 小田 昌男 専門職  
→庶務・助成係長 →教職員派遣係長

諸岡 学 教職員給与係長  
→専門職

【4月20日付け】

(転出)	(転入)
永滝 聡 教職員給与係 →外務省	町田 智子 外務省欧州局ロシア課 →教職員給与係

## 退任者あいさつ

### ◎外国語教育推進室長 岩井 宏◎

4月1日付けで神戸大学財務部長に異動いたしました。

平成19年10月から2年半、視学官、外国語教育推進室長として外国語教育の推進に携わらせていただきましたが、あっという間に過ぎ去った気がします。この間、外国語教育推進室の立ち上げから始まり、学習指導要領の改訂とその周知・広報、小学校外国語活動実施のための「英語ノート」をはじめとする条件整備、行政刷新会議、行政刷新会議の提言を受けた新たな外国語活動教材の作成準備、ALTの雇用問題、「外国語能力向上のための検討会」の発足等様々な課題に対して対応してまいりました。

また、海外出張ではテッセルトルとロンドンの日本人学校を訪問させていただいたことは、仕事上、大変参考となりました。

グローバル化が進展し英語をツールとして活用する重要性が増してきている中、子どもたちが日本人学校で学んだり、外国人児童生徒と身近に接することにより、異なる文化を知り、日本語とは違うことばに触れることは、その国にそして、その言語に興味関心を持たせることができる非常に良い機会だと思います。ただし、このような機会を子どもたち全員が持てるわけではありません。小学校で今年度から正式に外国語活動が導入されていますが、子どもたちに英語という言語に対する関心をどのように向けさせるかが、現場の先生方の大きな課題です。魅力ある授業が展開されることを心から期待します。

4月からは十数年ぶりに大学関係の仕事をしていますが、非常に新鮮な気持ちで取り組んでいるところです。小学校で英語を学んできた子どもたちが、大学生になるときにどのように日本の英語教育が変わっているのか期待したいと思います。

最後に外国語教育関係者を含め、お世話になりました方々に心から感謝するとともに皆様のご活躍を祈念いたしまして、異動のご挨拶とさせていただきます。

### ◎海外子女教育専門官 牧野 映也◎

平成21年4月から2年間お世話になりました。就任早々、新型インフルエンザ対応に迫られたのが、ついこのあいだのこのように思い出されます。この2年間は、派遣教員数の確保という難しい課題を中心に取り組んできましたが、なかなか思うようにいかず、校長先生をはじめとする各在外教育施設には、ご迷惑をおかけしたことをこの場を借りま

して深くお詫び申し上げます。

この4月からは全国学力・学習状況調査の契約を担当することになりました。今度は子どもたちの学力向上という観点で仕事をさせていただくことになりましたが、派遣教員の先生方が益々世界各地でご活躍され、帰国の際にはご家族そろって無事に戻られますことを、お祈りしております。

### ◎庶務・助成係長 岡崎 政典◎

4月1日付けで、放送大学へ出向いたしました。

国際教育課に在職いたしました2年3ヶ月の間では、国際理解教育係長、適応・日本語指導係長、そして庶務・助成係長とさまざまな仕事をさせて頂き、貴重な経験でした。

また、アトランタ補習授業校（ジョージア日本語学校）とピッツバーグ日本語補習授業校を訪問し、校長先生をはじめ教職員の方、運営委員会の方、保護者の方が一丸となり、安全管理対策や教室・教材の準備などをされているところを実際に拝見し、海外であることの不便さの半面、国内では得れない在外教育施設ならではの良さも感じました。

最後にとまりますが、皆様に御礼を申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。

### ◎在外教育施設指導係長 栃木 達也◎

この3月まで2年間半にわたり、国際教育課在外教育施設指導係の一員として、海外子女教育関係の諸機関・諸団体、そして在外教育施設派遣教員の先生方には大変お世話になりました。係として各方面からご要望等も数多くいただきましたが、なかなか十分にお応えできないこともありました。それでも学校へ巡回指導等で訪問させていただいた際、また帰国後当課へお寄りいただいた際は、校長先生をはじめ在外教育施設の皆様には温かく接していただき大変感謝しております。また、こちらからの依頼に対しまして、快くお答えいただいたことにつきましても重ねて感謝申し上げます。

さて、この気球船をお読みの方の中にも、3月の東日本大震災で被災された方、もしくは友人ご親戚等で被災された方もいらっしゃると思います。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。実を申しますと、この係に配属されてより、新聞を眺めても国内の記事より海外での災害・事故・戦火等にばかり目がいってしまう自分でしたが、今度ばかりはそうはいってられない事態となってしまいました。各在外教育施設におかれましても、海外に避難される子どもたちの受け入れに際して諸々配慮していただいたと伺っております。

思えば私の在任期間中、新型インフルエンザの蔓延や地震等の災害、テロ、各国の情勢不安等により、休校や一時避難等の措置をとらざるを得ないような事態が在外教育施設で起こりました。その時の報告を受けるにつけ、校内の児童生徒や保護者、教職員への対応はもちろんのこと、学校運営委員会の一員として、さらには日本人社会の象徴として、対外的な対応を迫られる管理職の先生方のご苦勞は、計り知れないものと感じております。私自信も、縁あって派遣教員として3年ほど日本人学校への赴任を経験させていただきましたが、そのときは教諭としての立場でしか行動しておらず、国際教育課で諸々対応させていただくことで、ほんの一部だとは思いますが、管理職の先生方のご苦勞を知ることができたと思います。

在任中いくつかの地区の校長研究協議会（以下、校長研）に参加させていただきました。そのうち補習授業校の研究協議会に参加させていただいた折、ある先生から、「校長は孤独だが、孤立してはいけない」との言葉を伺い、まさにその通りだと強く感じました。

問題によっては、立场上校長先生お一人で悩まれ決断されなくてはならない場面もあることと思います。年に1回、近隣の校長先生が一堂に会し、それぞれの学校での話を言い合い聞き合い共有することの意義は大きいと感じております。

また、校長研の中で、配偶者の方々とお話をする機会がありました。ボランティアとして学校へ積極的にご協力いただいているとの話も伺い、校長先生だけでなく配偶者の方々の学校に対する熱い思いを感じずにはいられませんでした。懇談の中で「何も問題なく任期を全うされるということは奇跡的なことだ」との話をさせていただきました。グローバル化が急速に進んでいる近年、一つの国で起こったことが近隣の国々を巻き込むだけでなく、インターネットやソーシャルネットワークワーキングサービス等の広がりもあり、全世界に影響を及ぼすといったことが確実に多くなったと感じます。今年に入ってから起こった中東・北アフリカ地域の反政府デモ等にかかわる治安の悪化につきましても、カイロ日本人学校、バハレーン日本人学校の2校において、派遣教員が避難のために一時帰国をするという事態にもなりました。そのような危機意識を常に抱きながら、赴任国の風土に合わせて安全に学校生活を営んでいくということはなかなか容易なことではありません。そのような厳しい世界情勢の中ではありますが、現在在外で活躍されている先生方には、充実した日々を送りいただき、任期を全うして元気に帰国されることを切に願っております。また、赴任地より戻られた先生方におかれましては、海外で学ぶ子どもたちのこれからの教育のため、後任の推薦をぜひともよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様の今後のご健康とますますのご発展をお祈り申し上げ、私の感謝の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

### ◎日本語指導係長 秋月 真也◎

2年間お世話になりました。国際教育課では、帰国・外国人児童生徒教育に携わらせていただきました。中学校の教員として十数年間生きてきた自分ですが、全く違った仕事をさせていただき、再度大切だと認識したことがいくつかあります。1つめは「つながり」の大切さです。どんな仕事でもそうですが、日本語指導係の仕事も、様々な外部の方たちのご助言・ご協力がなければ進めることができませんでした。大学教員などの研究者、最先端の外国人児童生徒教育を実践されている現場の先生方、多くの経験、実績をお持ちの教育委員会の方々、課題意識をもって記事を書いてくださる記者の方々など、多くの人たちと連携をとりながら仕事を進めていくことがとても重要だと実感しました。2つめには、「アンテナ」を高く持つことの大切さです。1つめの「つながり」とも関係しますが、常に最新の情報を集め、特に教育現場ではどのようなことが求められているのか、偏りがないうように極力多くの方たちの意見を把握し、それを施策に反映させていくことが大切だと感じました。現在、浜松市の中学校で教員をしています。教育現場でもこれらのことを忘れず、全力を尽くしたいと思います。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

### ◎教職員派遣係 小宅 直樹◎

平成21年4月1日に教職員派遣係に着任致しましてから、2年間大変お世話になりました。それまでは、在外教育施設についての知識は皆無で、また教員の方々と直接接する機会は、選考面接や各研修会等を通して初めてであり、何もかもが新たな経験となりました。

また、校長研究協議会を通して、在外教育施設の子どもたちと触れる機会を与えて頂き、

子どもたちはどんな場所でも懸命に、そして楽しく学習をしているという実感を得ることが出来ました。自分の知らなかった世界を経験したことで、自分の視野を広げることが出来ました。全ての関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、在外教育施設で勤務されている各先生方のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### ◎外国語教育推進室事業推進係 金子 宣央◎

4月1日より内閣府公益認定等委員会事務局に勤務となり、特例民法法人の公益法人認定の業務に携わっております。

国際教育課でお世話になった2年間では、研究開発学校及びJETプログラムという担当事業に係る業務を通じて、文部科学省の事業を実施する際に必要となる様々な業務を経験させていただきました。この経験が、現在の審査業務を行う上で、法人の実施する事業内容を判断する際の判断基準の一つとして大変役立っているように思われます。

また、この2年間に研修生として来られた先生方も含めた多くの方々とは仕事を通じた関わりを持つことができ、その方々の仕事に対する取り組み方、仕事の進め方を目の当たりにすることができました。このことも、現在の自分の担当業務を進める上で、自分の考える選択肢の幅を広げてくれているように思います。

これからも、これら国際教育課で得られた知識、経験を十分に活用していくとともに、組織という集団の中で自分の特性、強みを活かして自分の役割を果たせるよう努めていきたいと思っております。2年間お世話になり、ありがとうございました。

### ◎国際理解教育係・国際業務研修生 菊地英敏◎

平成22年4月より国際理解教育係・国際業務研修生として、高校生の国際交流の推進、REXプログラム等を担当しました。平成23年4月からは、米国モンタナ州にて文部科学省国際教育交流担当職員長期研修へ参加しております。在職中は、子どもたちの視野・可能性を広げようと、教育指導等に全力で取り組まれている学校・教育委員会、諸団体、そして文部科学省の皆様から、多くのことを学ばせていただきました。有難うございました。

### ◎外国語教育推進室企画調整係 川上佳奈子◎

国際教育課では10月からの半年間研修をさせていただき、大変お世話になりました。外国語教育推進室にて外国語教育に関する事務に携わる中で、国民の方、保護者の方、マスコミ等たくさんの方が興味・関心を抱いている分野であることを電話やメール対応で実感しました。

また、県教委にいる時には遙か遠い存在であった大きな会議が身近なところで開催され、傍聴や運営で関与するという貴重な経験をさせていただき、議論の内容はもちろんですが、進行する側としての視点でも考えることができ、勉強になりました。

4月からは所属の兵庫県教育委員会に戻りましたが、文部科学省で身につけた知識や考え方を活かして、子どもたちのために尽力していきたいと思っております。半年間、本当にありがとうございました。



## ◎外国語教育推進室企画調整係 連浦顕達（広島県教育委員会）◎

地方教育行政実務研修生として、昨年10月からお世話になりました。

主に、小学校学習指導要領における外国語活動の導入、英語ノートの印刷・配布等の業務にかかわらせていただきました。

元々小学校の教員である私にとって、文部科学行政がどう児童生徒や学校現場のことを考え、施策を立案、推進されているかを目の当たりにしたことは、今後、教育委員会や学校での仕事に活かしていけると考えております。

短い間でしたが、様々なことを学ばせていただいた有意義な半年間でした。ありがとうございました。

## 就任者あいさつ

### ◎外国語教育推進室長 渡邊 倫子◎

4月1日付けで外国語教育推進室長を拝命いたしました渡邊倫子と申します。

当室はできたばかりで、私は二代目の室長になります。今回の震災を契機に世界の中の日本として、海外の国々とコミュニケーションをとることの大切さを日本人全員が実感したことと思います。そのような新しい時代にふさわしく、一人一人が楽しく、生き生きと外国語が使えるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

### ◎教職員給与係長 麻生 政登◎

4月1日付けで長崎県から教職員給与係に異動になり、派遣教員の皆様方の給与・旅費・渡航等についてのお世話をさせていただくことになりました。

長崎県では、教育庁総務課と教職員課、商工労働部商工労働政策課に勤務しております。

在外教育施設については初めてのことも多く、皆様にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

### ◎海外子女教育専門官 北崎 哲章◎

4月からみなさまにお世話になりました北崎と申します。

現在、在外教育施設においては、児童生徒の多様化、現地校・国際学校志向等、様々な諸課題が山積しております。これら諸課題を1つ1つ解決するために微力ながら頑張っていきたいと思っております。

当課での勤務は初めてですので、みなさまに御不便・御迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんがどうぞよろしくお願いいたします。

### ◎在外教育施設指導係 首藤 弘明◎

4月1日付で在外教育施設指導係長を拝命いたしました。これまで神奈川県川崎市の小学校教員として国際教育研究会に所属し、外国語教育や国際理解教育に携わってきました。また、マレーシア・ペナン日本人学校で経験したことを生かし、在外教育施設で学ぶ子どもたち、活躍される先生方の少しでも力になればと思います。チャンス・チャレンジ・チャリティーの精神で邁進して参ります。

**◎日本語指導係長 植村 恭子◎**

4月1日付で日本語指導係長を拝命いたしました。これまで三重県の小学校教員として勤め、その後鈴鹿市教育委員会事務局の指導主事として、市内の外国人児童生徒教育にかかわって参りました。このたび、より広い視野で学び、より多くの方と出会う機会をいただけたことに感謝しております。慣れないことも多く、周囲の方々に学ぶ日々です。どうぞご指導くださいますようお願いいたします。

**◎教職員派遣係 三井 俊祐◎**

4月1日付けで教職員派遣係に参りました、三井俊祐と申します。平成21年度から2年間、長岡技術科学大学で特許など知的財産に関わる業務に携わっておりました。在外教育施設への教員派遣というこれまでとはまったく違った業務に携わることになりますので、色々と勉強し、皆様のお役に立てるようがんばっていきたくと思います。至らぬ点も多々あることと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

**◎外国語教育推進室専門職**

**中林 清美◎**

4月1日付けで外国語教育推進室事業推進係に参りました中林と申します。静岡県浜松市内の中学校で勤め、昨年度1年間は浜松市教育委員会での勤務でした。

長い間、一英語科教員という立場でしたが、こちらでは、日本での外国語教育全体について考えていかなければならず、勉強すべきことだらけです。外国語を学ぶことで、子どもたちが自分の可能性を広げ、世界の様々な人とつながることができたらと思っています。よろしくお願いいたします。

**◎外国語教育推進室企画調整係**

**近藤 聡子◎**

4月1日付けの新規採用で、外国語教育推進室企画調整係に参りました。

まだまだ慣れないことばかりですが、明るくあたたかな国際教育課で社会人1年目の日々を楽しく過ごさせて頂くことができ、感謝しています。

いろいろとご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、日々多くのことを吸収し、成長していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

**◎国際理解教育係 宮本亜由子◎**

岐阜大学より国際業務研修生として参りました宮本と申します。

岐阜大学では2年間、経営企画部で教員評価や統計調査等の業務に携わっておりました。

国際教育課の業務では、全く初めてのことばかりで戸惑うことも多いですが、やりがいのある仕事に関わらせていただいていることに、大変感謝しております。

皆様には今後ともご迷惑をおかけするかと思います。よろしくご指導下さいますようお願いいたします。



### ◎外国教育推進室企画調整係

#### 浅上 修嗣◎

4月1日付けで、神奈川県の藤沢市教育委員会より研修生として参りました、浅上修嗣と申します。

藤沢市教育委員会では、事務局職員として、教育委員会会議の開催に関する事務などを担当しておりました。

いろいろとご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

### ◎教職員派遣係 中嶋 恭子◎

4月1日付で教職員派遣係に参りました中嶋恭子と申します。

3月までは初等中等教育局視学官室で秘書をしておりました。

今までとは違う分野のお仕事なので、分からないことも多々あり皆様にご迷惑をおかけしてしまうこともあるかもしれませんが、頑張りたいと思いますので、ご指導の程、よろしくお願ひ致します。

### ◎庶務・助成係長 名取瑞樹◎

4月1日付けで庶務・助成係長を拝命しました名取瑞樹と申します。

昨年度は同じく国際教育課の教職員派遣係長を勤めており、4月に課内異動で庶務・助成係長になりました。

異動といっても、物理的には1mの移動でしかありませんが、国際教育課の予算総括や海外子女教育への助成等について、昨年度の教職員派遣係での経験と、一昨年まで他課の庶務係長だった経験を活かして、積極的に課題解決に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

### ◎教職員派遣係長 小田 昌男◎

4月1日付けで教職員派遣係長を拝命しました小田昌男と申します。

昨年度は本係の専門職として、在外教育施設派遣教員の選考面接や研修、人事等の業務に携わってまいりましたが、業務を総括する立場になり、重責を感じているところです。

今年度は、これまでの経験を生かし、係員と協力しながら、海外子女教育の一層の充実に向けて精一杯取り組んでまいりたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

### ◎教職員給与係 町田 智子◎

4月20日付で外務省より国際教育課教職員給与係に異動してまいりました。

日本人学校の教職員の方々とは、在外公館勤務中に文化事業等でご一緒させていただきました。文化の全く異なる地で生活すること自体が大変である中、多方面でご活躍、ご尽力頂きました。

今後は、教職員給与係を通じて日本人学校の教職員の皆様をサポートさせていただくことになりました。給与係に配属されてから数日経過し、正直申し上げて、重量級の業務に驚愕しておりますが、皆様のご迷惑にはならないように日々前進してまいりたいと思います。



## 国際教育課関連予算について

庶務・助成係長 名取 瑞樹

文部科学省では、2011年度の政府予算について、人(ヒューマン)・知恵(ソフト)を育成し、国民の未来に対する希望につながる施策に重点化し、我が国の成長の原動力である「強い人材」の実現のためには、国民全員に質の高い教育を受ける機会を保障し、様々な分野において厚みのある人材層の形成が必要との観点から、予算の見直しを行った。

このような基本方針のもと、国際教育課関係の予算総額については、海外子女教育、外国語教育等に要する経費として、201億4,135万円(対前年度比12億793万円、5.7%減)を計上している。

### 1. 在外教育施設教員派遣事業等

在外教育施設への教員派遣等にかかる経費として、197億1,047万円を計上。在外教育施設派遣教員等の定数は1,292人となっている。

### 2. 海外子女教育活動の助成

在外教育施設の教材整備等にかかる経費として、1億5,080万円を計上。

### 3. 海外子女教育推進体制の整備

在外教育施設に対する教育支援事業や安全管理体制の構築のための経費として、1,219万円を計上。

### 4. 帰国・外国人児童生徒等教育の推進

地域人材との連携による帰国・外国人児童生徒の学校への受入体制の整備への補助事業を計上。

(「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」94億5,000万円の内数)

### 5. 国際理解教育の推進

外国教育施設への日本語指導教員の派遣(REXプログラム)や高校生への留学促進等にかかる経費として、7,615万円を計上している。

### 6. 外国語教育の推進

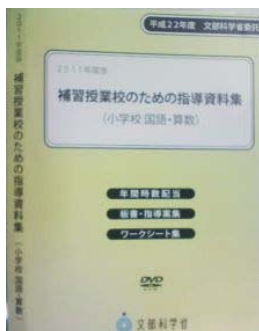
平成23年度から小学校で必修化された外国語活動に関して、これまでの成果・課題等を踏まえ、ウェブ化を含め新たな外国語活動教材の整備を行い小学校外国語活動の更なる充実を図ることや外国語指導助手の指導力等向上のための取組のための経費として、1億8,043万円を計上。

## 補習授業校のための指導資料集(小学校国語・算数)の配布

在外教育施設指導係長 首藤 弘明

今年度、小学校新学習指導要領の全面実施にあたって、当省では、各補習授業校における教育水準の向上を図るため、新たに補習授業校の教育形態・実状に即した指導計画や指導案等の資料を作成しました。

本指導資料作成にあたり、在外教育施設での教育について知見をお持ちの先生方を招聘し、「補習授業校のための指導資料作成に関する検討会」を開催し、補習授業校の実状を踏まえた指導資料のあ



り方やその内容について熱心にご討議いただきました。さらに、その内容を踏まえ、全国海外子女教育国際理解教育研究協議会に指導資料の作成を委託し、DVDパッケージ版が完成しました。

各補習授業校をはじめ多くの関係者の方々が、教育水準のより一層の向上のため、延いては海外で活躍する子どもたちのため、本指導資料を活用していただくことを期待します。

なお、中学部版は現在作成・検討中、来年3月に配布予定です。

## **平成23年度在外教育施設教育課程等実施状況調査について**

在外教育施設指導係

文部科学省では、在外教育施設の教育課程及び管理運営等の実態を把握するため、例年、日本人学校及び補習授業校に対し、「教育課程等実施状況調査」を実施おります。詳細については、平成23年5月9日在外教育施設設置者宛依頼文書をご確認いただき、ご不明な点等ございましたら下記担当までご連絡ください。本年度の締切りは平成23年6月15日（水）となっております。

ご協力の程よろしくお願いいたします。（担当：在外教育施設指導係（内線2442））

## **「帰国生のための学校説明会・相談会」のご案内**

海外子女教育振興財団

海外子女教育振興財団では、今年も東京・大阪・名古屋にて恒例の「帰国生のための学校説明会・相談会」を開催いたします。

各会場では、国内の小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・大学までの主な帰国生受入校の担当者が、すでに日本に帰国した、または海外から一時帰国している子どもたち（小学生～高校生段階）を対象とした、帰国生の進学に関するきめ細かな説明や相談に応じます。入場は無料、もちろん保護者だけでなく、子どもの同伴も可能です。特に、在外教育施設の先生方におかれましては、この7月に一時帰国または帰国される予定の方にお伝えいただくほか、進路指導担当の先生方も情報収集の機会として役立てていただければと存じます。

### ○東京会場

2011年7月29日（金） 13：00～16：30まで

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

最寄駅：東京メトロ千代田線「代々木公園」駅又は小田急線「参宮橋」駅から徒歩8分

12：30 受付開始

13：00 学校別ブースに分かれての個別説明・相談（～16：30終了）

14：00～14：30 財団教育相談員による講話『学校選択について』（予定）

### ○名古屋会場

2011年7月22日（金） 13：00～16：00まで

場所：名古屋国際会議場（名古屋市熱田区熱田西町1-1）

最寄駅：地下鉄名城線「西高蔵」または名港線「日比野」から徒歩5分

12：30 受付開始

13：00 愛知県教育委員会による講話『愛知県立高等学校における帰国生受け入れの概要について』（予定）

13：30 学校別ブースに分かれての個別説明・相談（～16：00終了）

○大阪会場

2011年7月21日（木） 13：00～16：30まで

場所：毎日新聞ビル オーバルホール（大阪市北区梅田3-4-5毎日新聞ビルB1）

最寄駅：JR「大阪駅・桜橋口」より徒歩8分など

13：00 受付開始

13：30 財団教育相談員による講話『帰国生受け入れの概要について』（予定）

14：00 学校別ブースに分かれての個別説明・相談（～16：30終了）

各会場の参加校・詳細スケジュールにつきましては随時財団ホームページに更新していきますので、ご確認ください。参加申し込みはWEBからになります。<http://www.joes.or.jp/>

海外子女教育振興財団情報サービスチーム

TEL +81-3-4330-1349, FAX +81-3-4330-1355

\*国際教育課「気球船」編集部より\*

本誌へのご意見、ご感想をお待ちしています。

下記までご連絡ください。

連絡先E-mail：kokukyo@mext.go.jp

こちらも随時募集中です。

○投稿記事

（原稿料は出ません。ご了承ください。）

○新規配信依頼



\*編集後記\*

3月11日に発生した東日本大震災に際して、多くの犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、被災したご家族の方々、関係者の方々に心からお見舞い申し上げます。日本国内だけでなく、世界中から寄せられている支援の輪に国際教育の意義の深さをあらためて感じております。

1年ぶりの気球船ですが、今後も在外教育施設の先生方、関係者の方々にグローバルな話題を提供していきたいと思っております。(S)

